

構成及び改定の方向性

第1章 改定趣旨と位置付け

・改定の位置づけと国土交通省「新水道ビジョン」についての説明

第2章 水道事業の概要

・春日部市水道事業の概要のうち、各種実績数値を令和6(2024)年度までの数値に修正

第3章 水道事業の現状と課題

・各種実績数値を令和6(2024)年度までに修正するとともに、管路の老朽化や耐震化対策がより重要となったことと県水受水単価改定など新たに生じた課題を追加

第4章 水道事業の将来像

・計画給水人口、給水量は水需要予測の結果を踏まえた数値に見直し

第5章 施策の概要

・現状の課題や今後の施設整備方針に応じて施策を一部修正
・目標値を現状を踏まえて見直し

第6章 投資及び財政計画

・現状の経営状況を踏まえて施設整備計画、財政・財源計画を総合的に見直し

第7章 計画のフォローアップ

・修正点なし

【1. 改定の趣旨】

・現行ビジョンの策定から7年が経過することから、これまでの施策の進捗状況や水需要の動向、社会情勢の変化等をビジョンに反映させる。
・近年の物価上昇や今後の県水受水単価改定など、現行ビジョンに反映されていない事象を反映させて、ビジョン全体の見直しを図る。

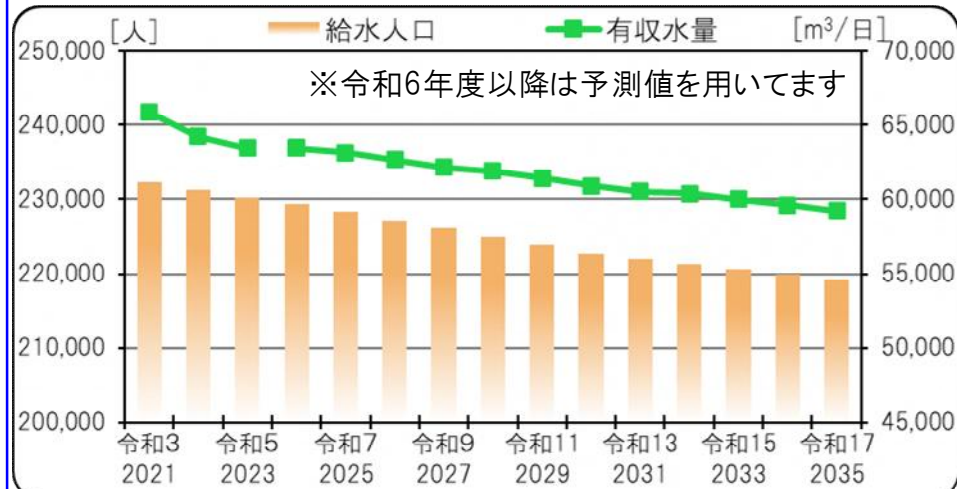
【2. 計画期間】

・令和8(2026)年度から令和17(2035)年度までの10年間とする。

【3. 主な見直しの内容】

第3章 水道事業の現状と課題

(1)水需要の動向



・給水人口、有収水量は減少傾向で、今後も続いていくと見られることから、人口及び水量の減少に対応した事業運営を行っていく必要があります。

(2)管路の老朽化及び耐震化

項目	令和元 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	近隣 平均値
法定耐用年数 超過管路率(%)	35.7	38.3	39.3	42.3	43.4	14.2
管路の耐震化 (%)	24.8	25.6	27.0	27.4	28.0	38.7

・法定耐用年数超過管路が年々増加しており、管路更新や耐震化を図っていますが、更新よりも老朽化のペースが早いため、より多く管路更新等に着手する必要があります。

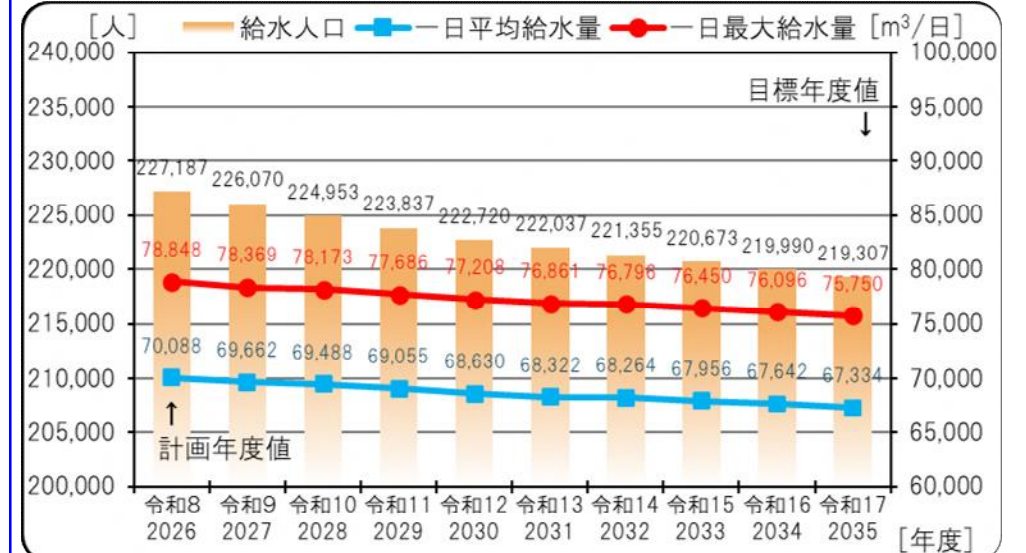
(3)経営の健全化

項目	令和元 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	近隣 平均値
資金残高 (百万円)	4,073	3,967	4,021	3,801	2,426	6,862

・資金残高は一定程度確保していましたが、北部浄水場の更新事業に用いたことで減少し、近隣より少なくなっています。
・安定的な経営を行っていくうえでは、一定程度の資金確保が必要になります。

第4章 水道事業の将来像

(1)計画給水人口と計画給水量



・事業認可計画値・現行ビジョン計画値との比較

項目	単位	事業認可 計画値	現行ビジョン		改定後	
			計画値 (平成30年度)	目標年度値 (平成39年度)	計画値 (令和8年度)	目標年度値 (令和17年度)
給水人口	[人]	255,000	235,000	226,800	227,200	219,300
一日平均給水量	[m³/日]	88,580	71,400	66,900	70,000	65,300
一日最大給水量	[m³/日]	106,900	82,900	77,700	78,800	75,700

・給水人口や給水量の実績値に加え、総合振興計画も考慮して将来の給水人口と給水量を推計しました。
・給水人口は現行ビジョンより減少速度がわずかに早くなる見込みではあるものの、有収率低下のため、給水量は現行ビジョンよりわずかに高くなる見通しです。

【参考】実績給水人口・給水量

項目	単位	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度
給水人口	[人]	233,777	233,085	232,340	231,233	230,320
一日平均給水量	[m³/日]	71,530	73,198	72,378	70,363	70,667
一日最大給水量	[m³/日]	79,750	81,470	78,900	79,160	78,080

・給水人口、給水量とも、年度による多少の増減がありますが、減少傾向にあります。

春日部市新水道事業ビジョン(経営戦略)改定(案)の概要

【3. 主な見直しの内容】

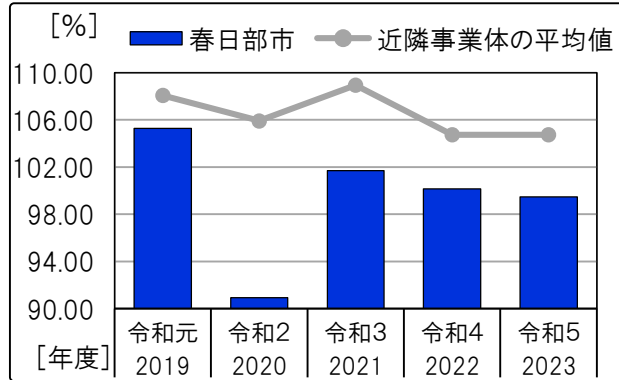
第5章 施策の概要

- ・施策体系のうち、将来に向けた継続的な取組が多くを占めることから、現行ビジョンの施策を概ね継承します。
- ・管路の老朽化や耐震化対策がより重要となったことと県水受水単価改定などの新たに生じた課題もあることから、施設整備方針の検討結果を踏まえて施策を見直す予定です。

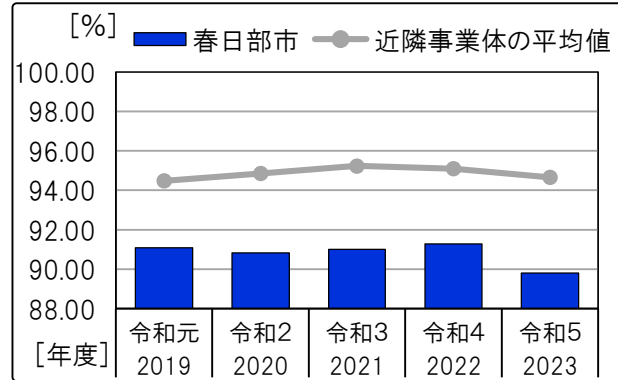
第6章 投資及び財政計画

(1)経営比較分析表を活用した現状分析

料金回収率



有収率



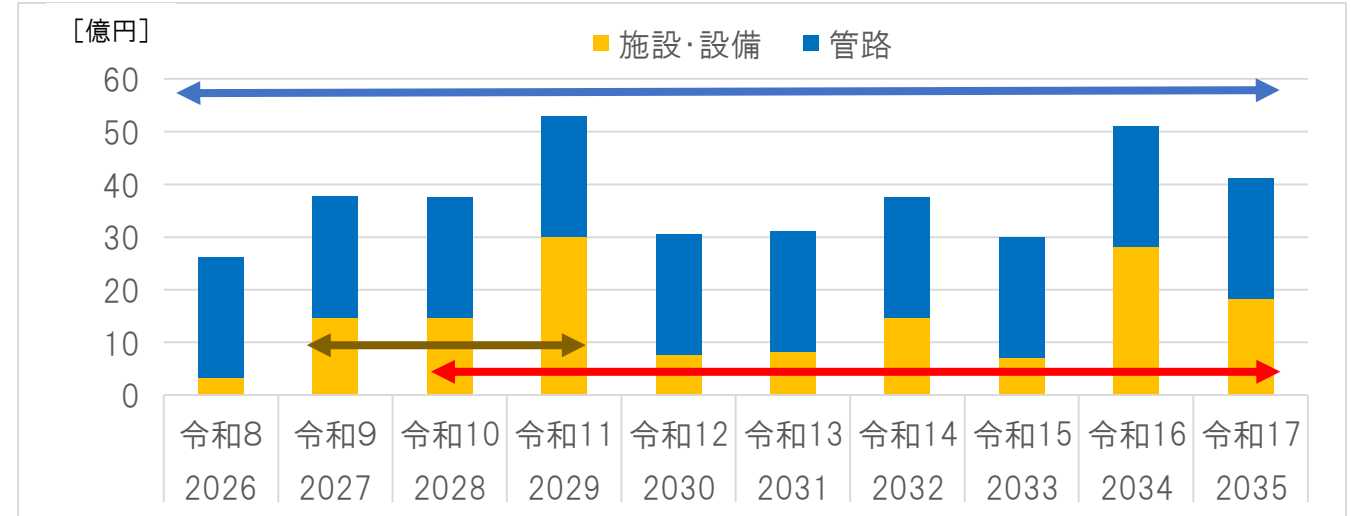
	令和元(2019)	令和2(2020)	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)
春日部市	105.27	90.94	101.70	100.14	99.46
近隣事業体の平均値	108.07	105.91	108.93	104.72	104.74

	令和元(2019)	令和2(2020)	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)
春日部市	91.09	90.83	91.00	91.29	89.81
近隣事業体の平均値	94.48	94.85	95.23	95.10	94.66

- ・料金回収率は、近隣事業体の平均よりは低い水準になっています。また給水収益の減少や近年の物価高騰による費用の増加傾向があることから、減少傾向が続き、令和5年度に100%を下回りました。収益の確保、費用の抑制に努める必要があります。
- ・有収率は低下傾向にあり、また、近隣事業体より低い水準となっています。
- ・有収率低下の主な要因は管路老朽化に伴う漏水の増加と見られることから、水道事業の効率的な運営の観点からも、これまで以上の管路更新や漏水調査などの有収率向上策に努める必要があります(R5年度の漏水による水道水の損失は約2億7,200万円)。

(2)投資計画

・施設整備方針の決定後に策定予定です。



現状で計画している事業

- ・庄和浄水場 受変電設備及び監視設備更新 ↔ 3年間 約22億円
- ・東部浄水場 管理棟及び各種設備更新・配水池耐震化工事 ↔ 8年間 約67億円
- ・管路 更新・耐震化工事 ↔ 10年間 約230億円

投資指標

基幹管路の耐震管率	75%
現状値	R5年度末現在:44.7%
管路更新率	年1.5%
現状値	R5年度:年0.49%(ほぼ横ばい)

(3)財政計画

財政指標

当年度純利益の確保	黒字経営の維持:経常収支比率110%以上
現状値	R5年度:103.87%
企業債残高の抑制	各年度の企業債残高給水収益比率を300%以下
現状値	R5年度:169.2%(ほぼ横ばい)
料金回収率の向上	110%以上
現状値	R5年度:99.46%
有収率の向上	93.5%以上(総合振興計画目標値)
現状値	R5年度:89.81%